

国際ロータリー第2560地区
ガバナーテーマ

「自らのロータリーストーリーを
作りましょう」

高田ロータリー
今年のスローガン

「善意を深め、
奉仕の力を昂めよう」



インスピレーションになろう

2018～2019年度

国際ロータリー会長 バリー・ラシン

2560地区ガバナー 川瀬 康裕

高田ロータリー会長 牧野 章一

幹事 佐藤 教彦

事務局：新潟県上越市西城町2-10-25 大島ビル201号

TEL (025) 526-3288 FAX (025) 526-3534

メールアドレス：takadarc@joetsu.ne.jp

例会場：デュオ・セレッソ TEL (025) 526-3111

クラブ広報・会報・雑誌委員

堀井 靖功 岩崎 幹男 宮川 大樹

第33回例会 ■ 4月5日(金)

No.33

会長挨拶 ● 牧野 章一



皆さまこんにちは一。4月1日、
新元号が「令和」に決まりました。

皆さま 様ざまなお考えがあると思
いますが、身近な個人消費に与える影
響は、“元号が変わり気分も新
たになり、前向きなマインドが生まれそう
だ。ラ行の『レ』は華麗さと躍動感、『ワ』
は昭和につながり安心感を生み出し、
個人消費にはプラスに働くだらう”と
の専門家の意見がありました。

平和で、そして、四つのテストが活
きる御世であってほしいと願っています。

4月は、「母子の健康月間」です。

日本は、赤ちゃんが世界一安全に生ま
れる「安産大国」です。乳児死亡率は出
生 1,000 人当り 0.9 人。パキスタンは
45.6 人です。(2017 年) 妊婦さんは
どうかというと、10 万人当り 5 人です。
ベストは、3 人です。ワーストはシエ
ラレオネの 1,360 人です。(2015 年)

終戦間もない日本の乳児死亡率は非
常に高い水準でした。その後の経済成
長で健康を取りまく環境が改善された
ことありますが、1948 年にスタート
した「母子手帳」(現在の母子健康手
帳)制度で現在の「安産大国」を築い
たと云われています。

「母子の健康月間」は、出産は、現
代であっても母子ともに命がけのこ
と、と強く認識することから始まる
のではないのでしょうか。特に男性
は！！であります。

今日の卓話は、総務省信越総合通
信局 情報通信部長 西浦徳昭様です。
演題は「信越総合通信

局の情報通信行政」です。興味深い
お話が伺えると思います。

ご清聴下さい。

出席報告

出席率 98.15%

メイクアップ

大谷光夫君・佐藤教彦君 (4/6 阿賀
野川ライン 創立 20 周年)

セレモニー

入会式



吉田進一君 (上越信用金庫 高田中
央支店 支店長)



山崎和明君 (㈱北越銀行 高田支
店 支店長)

委嘱状伝達

米山記念奨学会・世話クラブ・カ
ウンセラー 橋詰敏一君

委員会報告

出席ニコニコ BOX 委員会

羽深耕時君——上越市学校給食委
託、10 校になり、栄養士、調理師、
総勢 53 名でのスタートです。安心
安全な給食づくりに気合を入れて
頑張ります。

橋詰敏一君——長岡の看護大学「
長岡崇徳大学」が開学しました。
お手伝いでき光栄です。

親睦委員会——4月の会員お誕生日各お祝い、
4/12 観桜会のご案内
本山地区幹事——5/11 地区研修協議会ご協力の
お願い・米沢上杉 RC 訪問報告
国際奉仕委員会——ジョン君近況報告



会員インフォメーション

高坂光一君
米沢 RC バナー紹介



幹事報告

配布物：週報No.32

回覧物：ガバナー月信4月号、世界米山大会のご案内

卓話

信越総合通信局の情報通信行政



総務省信越総合通信局 情報通信部長 西浦 徳昭 様

信越総合通信局は、情報通信行政を所掌する総務省の地方支分部局として信越地域（新潟県、長野県）を管轄しています。情報通信を活用した防災・減災対策、電気通信事業の監理監督、放送局の免許や許認可、地域の情報化の推進、電波の有効利用の推進、各種無線局の許認可及び電波の監視などを所管し、情報通信技術（ICT）による安心・安全で快適な社会の実現に向けて業務を行っています。

本年度は、平成31年度信越総合通信局重点施策を策定し、「ICTで切り開く信越の新時代」というスローガンを掲げ、信越地域において、ICTの利活用促進及び基盤整備、安心して暮らせる地域の実現、安全なICT環境の整備、人づくり・ものづくりによる地域の活性化に向けて、各種施策に取り組んでいきます。

また、総務省全体の最近の取組として、「地域力強化プラン」について説明します。Society5.0

とは、サイバー空間（仮想空間）とフィジカル空間（現実空間）を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する、人間中心の社会（Society）と云われています。Society5.0は地方に大きな影響を与えることから、地方にもその認識を浸透させていく必要があります。そのためには、IoT、5G、AI等の新たな革新的技術の実装例等を、地方と共有していく必要があることから、地域力強化に向けた組織として総務大臣を本部長とする総務省・地域力強化戦略本部を立ち上げ、昨年12月20日の第1回会合において、「Society5.0時代の地方」をキーワードとした「地域力強化プラン」が発表されています。今後、広く皆様から優良事例や必要な施策の提案などをいただくなど、双方向かつ持続的なやりとりを行うことで、皆様とともに、Society5.0の進化に伴う「持続可能な地域社会の構築」を目指すこととしています。詳しくは、総務省のホームページをご覧ください。

コヒガンザクラ満開

高田ロータリークラブ社会奉仕活動事業のその後の様子をご紹介します。

今や高田の新名所となった儀明川沿いのコヒガンザクラは満開です。1999年以来3回にわたり約30本が植樹され、ピンクの色濃い花は川面に垂れ、おもむき満点。続いて2014年には高田城址公園内2箇所に10本の八重しだれ桜が植樹されました。木はまだ細いものの三重櫓に映え、また歴史博物館前公園の広場で開花し始めています＝写真下段（樹木NO228、118他）。朝のお散歩がてらお楽しみください。

三重櫓に映える八重しだれ桜

